## 木質建具について

木質建具は木を加工して作られていますので、空気中の水分を吸収したり放出したりすることにより伸縮する特性を 有しています。この空気中の水分の吸収・放出は木質建具両面の温度、湿度などの環境条件の変化に応じて発 生するものであり、自然現象といえます。特に、木質建具の室内面側と室外面側の環境条件が大きく異なる場合、「反 り」という現象が発生することがあります。

例えば冬の場合、暖房のよく効いた室内と暖房されていない廊下の間に設けられた木質建具は「反り」が発生しやすくなり、その結果、建具の間のすき間が大きくなったり、建具が閉まり難くなったりすることがあります。

工業的に生産される木質建具は上記のような特性を考慮しながら、開閉、施錠などの使用に支障の無い範囲で「反り」に対する一定の基準を設けております。また、生産時には品質管理と検査を実施して出荷しております。

しかし、木質建具は使用しているうちに、「反り」が発生し、開閉、施錠などに支障をきたす場合がありますが、これらに対しては丁番、戸車などの調整により対処できることがありますので、本書商品別使用上のご注意・調整方法をご参照ください。また、「反り」の発生をできるだけ抑える方法として、次のことを心がけてください。

- ●エアコン、暖房器具などをお使いになる場合は、木質建具に直接熱風、熱気が当たらないようにしてください。
- ❷ 夏場の冷房、梅雨時の除湿、冬場の暖房などにより、木質建具両面の環境条件の差を極端に大きくしないでください。
- 3木質建具に直射日光があたる場合は、窓辺にカーテン、すだれなどを設けて日光を遮ってください。
- ・扉に粘着テープでポスターなどを貼らないでください。表面が傷むおそれがあります。

「反り」の発生をできるだけ抑える方法として、次のことを心がけてください。

・本体に水、油、殺虫剤などが付着しないようにしてください。材質の特性により表面がふくれたり、しみ、変色などが発生するおそれがあります。

## アルミ建具の反りについて

アルミ建具には、スチロール芯材・木製芯材を使用している商品があります。これらの芯材は、空気中の水分を吸収したり放出したりすることにより伸縮する特性を有しています。この空気中の水分の吸収・放出は建具両面の温度、湿度などの環境条件の変化に応じて発生するものであり、自然現象といえます。特に、建具の室内面側と室外面側の環境条件が大きく異なる場合、「反り」という現象が発生することがあります。

- ●エアコン、暖房器具などをお使いになる場合は、建具に直接熱風、熱気が当たらないようにしてください。
- 2 夏場の冷房、梅雨時の除湿、冬場の暖房などにより、建具両面の環境条件の差を極端に大きくしないでください。